

防災デイキャンプ（5年生）

第5学年担任 主任教諭 檜垣 壘

6月8日（金）、4・5年生合同で防災デイキャンプを行いました。1日を通してたくさん内容を前向きな姿勢で学習に取り組みました。

1時間目の講義では、災害が起こった時に自分にできることを考えました。話し合った内容の中には、自分の身を守ることや人のためにボランティアをするなど自分たちの役割を考えることができました。3時間目は減災アクションカードを使って、災害が起きた時に自分がどのように行動するかをカードの中から選び、グループの友達に発表しました。友達の内容をよく聞き、発表後には互いの意見を認め合い、拍手を送り合っていました。4時間目の炊き出し体験では、アルファ化米のもどし方を実際に見せてもらいました。段ボール1つで50人分のご飯ができることに驚いた様子をしていました。食べた感想は「おいしい。」「もっとパサパサしているかと思った。」「おいしくないと思っていた。」などの感想が出ていました。5・6時間目の心肺蘇生の学習では、命の大切さを感じながら体験活動に取り組みました。講師の先生の話聞き、汗をかきながら真剣に胸骨圧迫に取り組み、AEDの操作方法を学びました。

とても貴重な一日となりました。当日はたくさんの保護者の皆様にお手伝いに来ていただきました。ありがとうございました。



上：4・5年生の講義
中：講義 発表の様子
下：国土館大学の先生方

防災デイキャンプ（4年生）

第4学年担任 主幹教諭 田代 智子

6月8日（金）、4年生は5年生と共に1校時から6校時まで防災デイキャンプに参加しました。1時間目の講義後半では、班ごとにホワイトボードを囲んで、避難所で自分たちにできることを考えました。自分でできることは自分です、困っている人を助けるという意見がどの班でも出されました。その後、胸骨圧迫やAEDの体験、避難所体験（パーティーションに入って寝転ぶ、非常食を食べる）、けがをした時の応急手当体験、火事が起きた時に消火器体験、減災アクションゲームとたくさんの学習をしました。4年生の1学期なので、まだ、2学期に学習予定の火事や事故から身を守る仕組みや福祉についての学習をしていませんし、5年生と比べて一回り体も小さく、大変でしたが、何度も水分補給をしながら暑い中、真剣に学習に取り組んでいました。見たことや聞いたことは忘れるけれど、やったことは忘れないと言います。災害は、いつ起きるか分かりません。今回、学習したことを生かし、その時の年齢に応じてできることを精一杯できるとよいと思います。

最後になりましたが、国土館大学 防災・救急救助総合研究所の皆様、非常食の準備のお手伝いをしてくださった保護者の皆様、防災用品を貸し出してくださった多摩市防災安全課の皆様、本当にありがとうございました。



上：胸骨圧迫体験
中：避難所体験
下：消火器体験